

平成29年度 学力調査結果について

教育指導課指導係
☎0824-73-1184



本年度実施した、全国学力・学習状況調査および広島県「基礎・基本」定着状況調査の結果は次のとおりでした。2つの学力調査の結果を受けて、庄原市の児童生徒の学力や学習の状況をお伝えします。

全国学力・学習状況調査の結果

文部科学省が行う、全国学力・学習状況調査が4月18日に実施され、小学6年生と中学3年生が参加しました。(表1)

表1 [小学6年生]

教科	庄原市	広島県	全国
国語A	79	77	74.8
国語B	61	61	57.5
算数A	80	81	78.6
算数B	47	47	45.9

[中学3年生]

教科	庄原市	広島県	全国
国語A	78	78	77.4
国語B	75	73	72.2
数学A	63	64	64.6
数学B	47	48	48.1

表1のとおり、全国学力・学習状況調査では、すべての教科で平均正答率が全国平均と同程度か上回っていますが、知識・技能を活用する内容のB問題の平均正答率がA問題に比べて低く、特に算数B・数学Bはともに50%を下回り、継続した課題となっています。

※Aは基礎的・基本的な内容、Bは知識・技能を活用する内容
※数値は平均正答率(%) ※本年度、全国平均以外は整数値で公表

広島県「基礎・基本」定着状況調査の結果

広島県教育委員会が行う、広島県「基礎・基本」定着状況調査が6月13日に実施され、小学5年生と中学2年生が参加しました。(表2)

表2 [小学5年生]

教科	庄原市	広島県	
国語	教科全体	73.5	68.0
	タイプI	75.8	71.5
	タイプII	63.0	52.4
算数	教科全体	79.1	74.3
	タイプI	82.4	77.1
	タイプII	68.3	65.4
理科	教科全体	65.5	61.7
	タイプI	75.4	70.4
	タイプII	53.4	51.0

[中学2年生]

教科	庄原市	広島県	
国語	教科全体	71.9	69.2
	タイプI	72.6	70.4
	タイプII	68.7	64.0
数学	教科全体	71.8	66.9
	タイプI	75.9	69.7
	タイプII	57.9	57.4
理科	教科全体	55.7	50.8
	タイプI	60.6	54.5
	タイプII	48.4	45.3
英語	教科全体	82.1	72.4
	タイプI	84.3	74.7
	タイプII	70.0	59.9

表2のとおり、広島県「基礎・基本」定着状況調査では、すべての教科で県平均を上回っています。また、基礎的・基本的な学習内容(タイプI)は、概ね定着していると考えられますが、全国学力・学習状況調査と同様に、知識・技能を活用する内容のタイプIIの通過率が、タイプIに比べて低くなっており、特に中学校理科のタイプIIは50%を下回り、課題があります。

※タイプIは基礎的・基本的な内容、タイプIIは知識・技能を活用する内容
※数値は平均通過率(%)

広島県「基礎・基本」定着状況調査の質問紙調査における調査結果より

※数値は、「よくあてはまる」「ややあてはまる」と肯定的に回答している割合(%)

図1

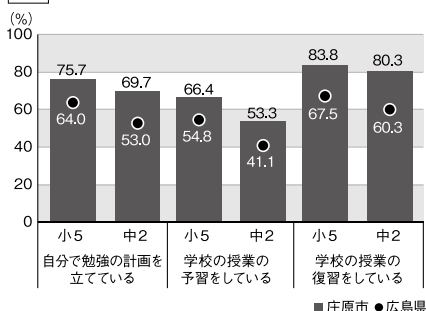


図2 平日の家庭学習1時間以上の児童生徒の割合の推移

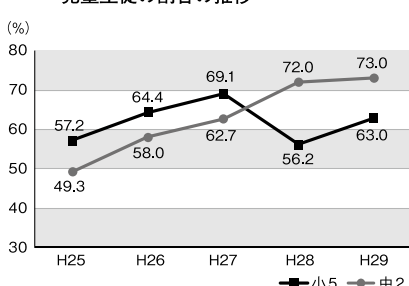


図1のとおり、自分で勉強の計画を立てたり、授業の予習・復習をしたりしている児童生徒の割合は、すべて県平均を大きく上回っています。また、図2から、家庭で1日1時間以上勉強する児童生徒の割合は増加傾向にあり、家庭学習習慣が定着してきていることが分かります。

図3 平日にテレビやゲームを、1日に3時間以上見ている児童生徒の割合の推移

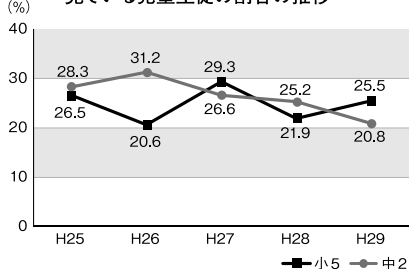


図3のとおり、これまで課題であったテレビやゲームの視聴時間については、中学2年生は1日3時間以上の割合が減少してきていますが、小学5年生は20~30%の間で推移しています。

図4 家庭で1週間に3時間以上読書をしている児童生徒の割合の推移

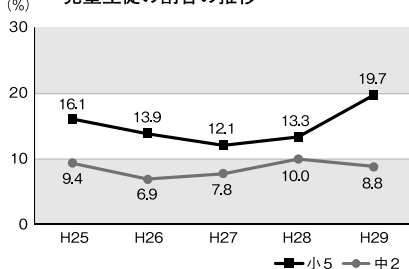


図4のとおり、家庭で1週間に3時間以上読書をしている割合は、小学5年生は増加傾向にあるものの、中学2年生は10%弱で推移しています。

市教育委員会では、児童生徒の望ましい生活習慣の定着と学力の向上に向け、今後も、学校・家庭・地域が連携した意図的な取り組みを進めていきます。